

# 『埼玉新聞』

## 高校総体埼玉県予選

### 女子新種目にも注目

1に出場予定で本職の1000以上では10秒44の自己ベスト更新を狙う。対抗馬は、地区予選の2000以上で大会新の21秒52をマークした同校の利田大紀。調子を上げてきていて、好勝負になりそう。

生ながら連覇を狙う大野史佳(西武台)が本命。けがの影響で本格的な練習を始めたばかりだが、砲丸の軌道がよくなり14秒越えも視野に入る。練習でのアベレージが上がってきている高校総体8位入賞の松下ちひろ(川口総合)との一騎打ちが見ものだ。

# 佐野(立教新座)自己新狙う

## 男子100

### 陸上高校総体県予選あす開幕

陸上の県学校総体高校の部は12日から4日間、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で男女計41種目が行われる。各種目とも上位6位(競歩、混成、女子の棒高跳び、三段跳び、ハンマー投げは4位)までが南東北(陸上=7月29日~8月2日・山形)で開催される高校総体の最終予選となる北関東大会(6月16~19日・千葉)に出場する。好記録に期待できる各種目を展望する。(金子祐樹)

### 大野(西武台)松下(川口総合)が一騎打ち

県高校新への期待が懸かる八種競技の北村一真(昌平)は昨年の高校総体5位入賞と実績は申し分ない。ただ今回は明け明けで万全とはいえず、北関東へ向け記録よりも感覚をつかみたい。8000以上では昨秋の日本ユース2位の入江亮輔(春日部共栄)の好記録に期待大。初日の1500以上で、一度ペースをつくってから本職の8000以上に合わせていく。

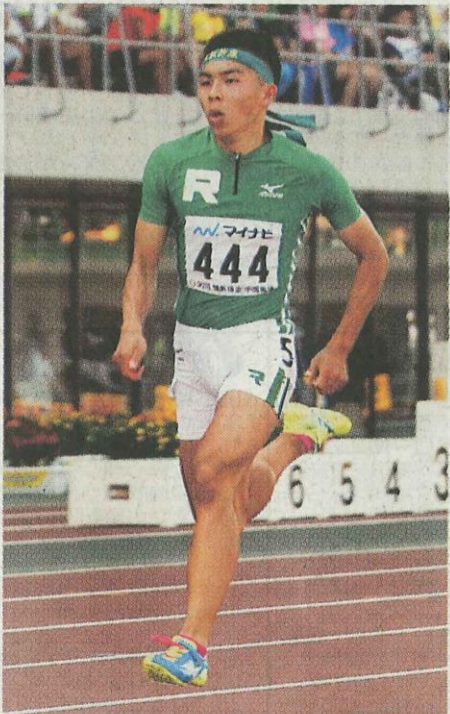
短距離では、新井美鈴(国際学院)が力強い。苦手のスタートが改善され、2年生ながら100、2000以上の個人2冠を視野に捉える。1000以上障害は4位入賞の日本ユースで19秒90を出した小山田環(昌平)が有力。ともに昨年の高校総体で準決勝に進んだ4000以上の岩田芽生(昌平)、4000以上障害の滝沢瑞季(本庄東)も実力者。長距離では大塚沙弥(大宮)が1500、3000以上で2年連続の2冠に挑む。

男子で最も注目したいのが、昨年の高校総体1000以上で4位入賞の佐野陽(立教新座)だ。100、200、4000以上

### 女子砲丸

跳躍では三段跳びの富田健人(本庄第一)が有望株。14秒71の自己ベストを上回る15秒越えを狙う。走高跳びは森山健太、2年生秋山智也の武南勢を軸に展開される。女子は砲丸投げが熱い。2年

跳躍では、助走スピードが向上した小野瀬桃華(埼玉栄)が走り幅跳び、三段跳びの2種目制覇を目指す。走り幅跳びは鈴木莉琴(聖望学園)も好調を維持しており、ハイレベルな戦いになる。昨秋の日本ユースを制した走り高跳びの小池芽生(武南)は、ピークはもっと先だが地力は十分。



昨年の高校総体男子100以上で4位入賞した立教新座・佐野陽。2016年7月30日、岡山市のシテイライオンスタジアム

今年から高校総体の新種目となった女子の棒高跳び、三段跳び、ハンマー投げの中では、棒高跳びの橋本直、和田沙也夏の越谷南勢から目が離せない。今月5日の越谷市記録会で県高校記録を更新する3秒85を跳んだ橋本が一歩リード。